



今月のNEWSな楽譜&グッズ



☆音楽之友社

○小さくたってじょうずな手 学習中のピアニストのための34の小品 ロジェ作曲/永富正之解説 1,890円(税込)
フランスの作曲家・ピアニスト・教育家で、日本の音楽教育に多大な貢献をしたアンリエット・ピュイグ=ロジェによる、子供のためのやさしいピアノ曲集。左右の手を対称的に動かす「反進行」で書かれているのが大きな特徴で、左右の同じ指の同じ筋肉を同時に動かすので合理的に短時間のうちに効果をあげることができ、2つの声部を同時に聞き分けられるようになります。どの曲も歌いやすい全音階のメロディで書かれているためソルフェージュの練習にも活用できるばかりでなく、長・短音階のほかドリアやフリギアなどの様々な旋法が用いられているので、響きに対する繊細な感受性が養われるでしょう。

☆サーベル社

○たのしいレッスンのために キッズ・ピアノ③ 遠藤蓉子著 1,365円(税込)
小さい子が音楽に親しみ、ピアノが大好きになってくれるようにとの願いから作られたシリーズの第3巻。「にじいろワーク・ブック」に対応しており、しっかりした譜読みをトレーニングすることにより、その能力をピアノにおいて生かす方法を本書で実践。また、新しい音をどんどん習うのではなく、すでに習った音の範囲で十分に練習を重ねることによって指の動きをなめらかにし、自信を持って進んでいけるように構成しています。レパートリーも、子供向けの曲から偉大な作曲家のものまで幅広く選曲しており、この一冊で楽しくレッスンを進められる内容です。

☆ドレミ楽譜出版社

○やさしいハノン[伴奏CD付]ワルツやタンゴのリズムにのって 池田恭子編 1,575円(税込)
ピアノ基礎修得に重要な役割を持つ教則本「ハノン」を、初級者向けに音域を1オクターブにとどめ、レガートやスタッカート、リズムのヴァリエーション等で多面的に練習することを可能にした教本。全20曲の練習課題は、手形の形の維持、ひじや手・指・腕の力のコントロールに始まり、徐々に速い運指運動、細かなリズム・パターンに慣れていけるように考えられています。付属CDには全20曲の練習課題を収録。

○ピアノひけるよ! ジュニア変奏曲集/シニア変奏曲集 橋本晃一編 各1,260円(税込)
「ピアノひけるよ!」に載っている曲を中心に、こどもたちがよく知っているメロディをテーマにした、楽しく弾き映えのする変奏曲集です。テーマだけでは短すぎる曲も、変奏により十分な演奏時間になっているので、普段のレッスンだけでなく、発表会のレパートリーとしても活用できます。

○やっぱりピアノがすき! こどものうた名曲集 橋本晃一編 1,365円(税込)
定番となっているこどもの歌の名曲をセレクト。ブルグミュラー程度のアレンジになっており、発表会にもレパートリー集としても活用できる内容。

☆カワイ出版

○小さな手と発表会のための こどもピアノれんだん 鈴木豊乃編曲 1,470円(税込)
「こどもピアノ」シリーズからピアノ連弾曲をピックアップ。これまでのシリーズ同様、イラストをふんだんに盛り込み、見た目にも楽しい曲集です。みんなが知っているうた・クラシック・スペシャルデーとシーンに合わせた3章立て。

☆シンコーミュージック

○連弾&2台ピアノ 発表会で弾きたい定番ソング 1,890円(税込)
発表会、1人で弾くのもよいけれど2人で演奏するともっと楽しくなれて、観客にも喜んでもらえる定番曲を連弾と2台ピアノ用にアレンジ。初心者から上級者まで対応しています。

○シンコーミュージック・ムック W100 ピアニスト 1,050円(税込)

いつの時代も女の子のお稽古事の筆頭に上げられるピアノ。クラシックはもとよりジャズやポップス、ロックと様々なジャンルでプロとして活躍する女性ピアニストにフォーカスを当て、ピアニストという仕事を再考します。【内容】時代を超えてシーンを牽引する女性ピアニスト考(フジ子・ヘミング/秋吉敏子/矢野顕子)/各ジャンルのプロ演奏家へのインタビュー/ピアニスト100名のプロフィール/ピアニストの1日(ライブ1日追っかけレポート)/コンクールリスト(プロへの登竜門編)(アマチュア参加編)/コラム、他



小さくたってじょうずな手 (音楽之友社)



キッズ・ピアノ③ (サーベル社)



やさしいハノン (ドレミ楽譜出版社)

ピアノスナーのための情報誌

NEWS88

第119号 (2011年2月)

たのしいレッスンのために キッズ・ピアノ①～⑤<カラー・カードつき>

えんどう ようこ 遠藤 蓉子 (ピアノ教育研究家)

これまで小さい子のためのテキストをたくさん作ってきましたが、「キッズ・ピアノ」はこれまでの研究の集大成と言えるもので、どんな子どもでも楽しくそれぞれのペースでピアノを弾くコツをつかむことができるシリーズです。

具体的には、3年前に出版しました「にじいろワーク・ブック」を使うことにより、小さい子どもでもともしっかりした譜読み能力を身につけることができましたので、その能力をもっとピアノにおいて反映させたいという思いが出发点となっています。

特徴としては、色音符のカラー・ページを挿入していることで、新しい音を習った時や両手の同時奏の困難に直面した時に、画期的に子どもたちの心の負担を軽減することができます。新しい音をどんどん習うのではなく、すでに習った音の範囲で十分な練習を重ねながらゆっくりのペースで進んでいきますが、同時奏は早い段階から導入しており、色音符を使うことによって小さい子どもでも無理なく両手のタイミングをつかむことができるよう工夫しています。

また、習い始めにおいても、知っている曲を弾きたいというのが多くの子どもたちの願いでありますので、先生とのアンサンブルや弾き歌いによってその気持ちに添えているのも大きな特徴です。子ども向けの曲から偉大な作曲家のものまで幅広いレパートリーとなっており、5巻まで弾き進むうちに様々な音楽体験をすることができます。

先生と一緒にピアノを弾いたり歌ったりすることによって、ピアノが大好きになり、積極的にピアノの練習に取り組む結果となります。巻末のカラー・カードも音符とリズムのまとめとしてとても役立ちます。小さい子どもでもわかる方法で、ピアノの基礎を楽しく学ぶシリーズですので、ぜひレッスンで活用して下さい。



【キッズ・ピアノ】①～⑤ (カラーカード付き)
遠藤 蓉子 著
価格:各1,365円(税込)
菊倍横 サーベル社刊



好評既刊
【にじいろワーク・ブック】①～⑤
遠藤 蓉子 著
価格:各997円(税込)
菊倍横 サーベル社刊

遠藤 蓉子 Yoko Endo

ピアノ教育研究家。1才から年配の方まで幅広く指導する傍ら、独自の発想によるユニークな教材を多数執筆。公開講座も各地で開催。著書「1才からのピアノ・レッスン」「2才からのピアノ・レッスン」「ピアノ・レッスン知恵袋」、テキストは「よいこのピアノ」「おんぶ・にこにこ・ワーク」など。
<http://homepage3.nifty.com/yoppii>



今月のNEWSな楽譜&グッズ

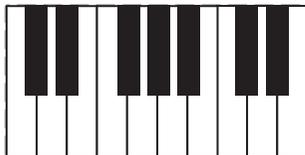


☆ヤマハミュージックメディア

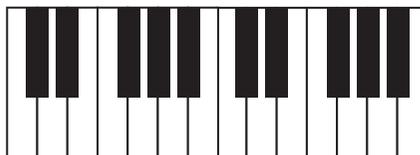
○黒河好子のPianoサブリ 続 ピアノを弾くからだ-筋力・ペダルのトレーニング編-(DVD付) 2,940円(税込)
「ピアノを弾くからだ」の待望の続編です。今回は体の仕組みと指のトレーニング中心でしたが、今回はテクニックの源である重要な筋力、そして、これまで誰もここまで教えてくれなかったであろうペダルのトレーニングについても書かれています。指を動かし、ただ弾いているだけでは音楽の表現や音色は変化しませんし、筋力の使い方を自分自身で理解していないと思通りの演奏はできません。筋力編では、筋力の効果的な使い方を徹底的に解説。また、ペダルのトレーニングについては、足のどこの部分でペダルを踏むかでどれだけ音色が変化するかをわかりやすく解説。

○ゲーム感覚で学べる はじめての聴音【使用ガイド】(CD2枚付) 永瀬まゆみ著 2,100円

○ゲーム感覚で学べる はじめての聴音【書き取りノート】 永瀬まゆみ著 630円
音の認識ではできても、実際に5線紙に音符を書き取っていくことは至難の業です。5線の上に数字が書いてあったり、拍毎に区切られていたり……そんな工夫がされた、今までになかった聴音書き取りのための専用ノート。これでスムーズに聴音学習が始められます!



フンメル博士からの アドバイス 助言



～連載～ ピアノレッスンの今後



[シリーズ1] ショパンに導く脱力テクニック 第2回

前回のシリーズ「ピアノ教師でもあった大作曲家たち」では、バッハからドビュッシーまでの教師像やレッスン時の注意事項を連載しました。このシリーズ1ではショパン先生のレッスンでの練習方法、演奏法、指導法や教則本について、偉大なピアニストでピアノ教師のルーツの一人でもあったフンメル博士に扮してさらに詳しく解説していきます。とっておきの情報を是非ピアノのレッスンにお役立て下さい。岳本 恭治

1. ショパン先生の「ピアノを弾くときの姿勢」①

*フンメル博士の助言

ピアノのテクニックを身につけると、真っ先に手の形や指のトレーニングに飛びついてしまう人が多く見受けられますが、まず第1に考えなければいけないことは、「ピアノを弾くときの姿勢」です。どんなに優れた指のトレーニングを行っても姿勢が悪いと台無しになってしまい、最悪な場合はそのトレーニングが害になることもあります。また、姿勢は脱力奏法への重要なカギにもなります。これからショパン先生のテクニックについてご紹介していきますが、ショパン先生の時代のピアノの構造、アクションや鍵盤の状態は、現代のピアノと大きく異なります。そこで現代の楽器の構造を踏まえた上で考えてみたいと思います。

1. 少し高めに座る。ただし肘が鍵盤と同じ高さになるように保つこと。(ショパン)

*フンメル博士の助言

上体を起こして、重心を下に持っていき、腰が落ちないようにしっかりと支えましょう。しかし緊張してはいけません。ショパン先生は、「肘が鍵盤と同じ高さ」とおっしゃっていますが、現代のピアノは、ショパン先生の時代のピアノより鍵盤が重く、沈み方が深く、幅が広がっているので上級者でないとコントロールがむずかしいかもしれません。そのために子どもや初心者は手、手首、前腕、肘、上腕、腕の付け根までが、かなりゆるやかな上昇曲線を描くようになるように椅子の高さを調整しましょう。また、椅子の位置ですが、ピアノに対して前過ぎたり、後ろ過ぎたりしないようにしなければなりません。後ろに座りすぎて手が伸びてしまい余分な力が入らないように、肘が十分に弛緩できる位置に設定する必要があります。肘が弛緩していることも脱力奏法の重要アイテムの1つです。

2. 右足をダンパー・ペダルの上に置く。(ショパン)

*フンメル博士の助言

右足はダンパー・ペダルに置き左足も安定した状態に置きましょう。

使用しないときでもダンパー・ペダルに右足を置いて下さい。ただし性能のよいピアノだと置いただけでペダルが掛ることがありますので注意して下さい。左足はシフト・ペダルを使用するときに、当然ペダルの上に置きますが、使用しないときは少し後ろに引いた方が安定します。前に置いてもいいですが、右足の位置よりも前すぎない方がよいと思います。

3. 体を極端に傾けなくても鍵盤の両端に手が届くこと。(ショパン)

*フンメル博士の助言

これにはかなり個人差がありますので注意が必要です。とくに幼児は無理ですので、手が届く範囲で調整しましょう。

最低音と最高音を同時に腕を広げて弾いてみましょう。鍵盤全体を見渡すことは姿勢を安定させるのに良い効果があります。また、手を交差できるようにしたり、鍵盤の右や左端を弾く時に、肩が傾かないようにしなければなりません。

information

■好評発売中

「リスト：3つのラ・カンパネッラ」

岳本恭治 校訂・解説

税込価格：1,890円／菊倍版64ページ

ヤマハミュージックメディア刊

有名な「ラ・カンパネッラ」、実はあと2曲作曲されていたのをご存知ですか？本曲集はその3曲を収載。

岳本恭治先生校訂・解説。

岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。NHK=FM等の演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノを読む」、「江戸でピアノを」等多数。現在、日本J.N.フンメル協会会長、国立音楽院講師、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PITNA)正会員。

岳本恭治先生のブログ...<http://jnhummel.com>



岳本 恭治
(日本J.N.フンメル協会 会長)

♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

ちょっと遅くなりましたが…新年あけましておめでとうございます。今年は兎年。ウサギのようにぴょ〜んと飛躍できる1年でありますように心よりお祈り申し上げます。(*^_^*)

このごろ特に思うことがあります。それは人それぞれにあった生き方があっても良いのかな…と。レッスンにしても生徒にあった色々な進め方もありかな〜と。そうするとますます指導の柱とその引き出しをしっかりと持っていることが私たち指導者には求められるのかも知れません。

先月のニュース88で認定試験コンサートをとことを取り上げましたら、ある先生からこんなお便りを頂きました。「先生、実は私の教室でも"ミュージックキー認定試験"を取り入れています。お陰で教室全体がレベルアップし、活気づいています。その中の小5の男の子のお話をさせてください。」ということでその生徒さんのお話を要約します。

その生徒は幼稚園の年長からスタートしたけれど全くピアノを弾くことには興味を持たなかったようです。唯一やる気を持ったのが「わかーるワーク」のシリーズだそうです。導入編の1巻がなぞりながらも、内容を考え、穏やかな進み方だったので渡したそうです。すると字に興味を持ち始めた時期と一致したようで、遊びの感覚でハマったそうです。小3の頃にはすでに発展編を制覇。そこで先生は取り入れたばかりの"ミュージックキー認定試験"の楽典部門の話しをすると乗ってきた。早速、8級からスタート。当然のようにどんどん合格！次に先生はピアノを弾きたがらないその生徒さんに他の部門のチャレンジを進めたのです、するとテクニックに興味を示したそうです。Go!Fingers!の8級合格を皮切りに5指のテクニック1〜2へ…これもゲーム感覚で認定試験に挑戦したそうです。今は曲部門に少しずつ興味づけしているとのこと。

このお話に、改めて思うのです。食事を頂くときに好きなものばかり食べないで色々バランスよくゆっくり噛んで食べて〜と母親は子に言います。確かにその通りだと思います。でもピアノのレッスンの、この生徒さんを見る限り必ずしもそうとは言いきれません。どうしても興味を示さないものを無理やりやって嫌いにでもさせたらレッスンを始めた意味がありません。なかなか先生の予想通りに反応してくれる生徒さんばかりではありません。そんな個性の強い生徒さんに出会ったら、ここはひとつ頭を柔らかくして、まずは食いついてくるものから始め…最終的に音楽好き、ピアノ大好き！そんな生徒さんに育ててくれたら、私たちピアノ教師は本望ではないでしょうか。今年はちょっと頭を柔らかくして生徒にあった引き出しを作りませんか〜。^_^;

講座のご案内

講師：岩瀬洋子

●魅力的なピアノ教室実現のための

「導入指導マスター講座・4つのシリーズ」

今「ピアノのおけいこ」のあり方(練習しない/親子で根気がないなど)に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師(指導)、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が重要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】《リズム編》2/3《テクニック編》3/3, 5/12
《実践編》6/2, 7/7

[会場] 東京芸術劇場第5会議室9：50〜11：50

【名古屋】《実践編》2011年1/12

●魅力的なピアノ教室実現のための「ディプロマコース」

これは上記講座修了者がさらに深く学習できるよう実践的な内容で進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

【広島】2011年2/9(水曜日)

【姫路】2011年2/10, 4/14(木曜日)

【池袋】2011年2/4, 3/4(金曜日)

【名古屋】4/13, 5/11, 6/8, 7/13, 9/14, 10/12, 11/9(水曜日)

●「振り向いたら変わったた…指導(シドー)法！」

【東京表参道】単発3/9(水)

講師：田村智子

●「導入期だからこそ、生徒に〈わかーる〉レッスンを！！」

【大阪/梅田】1/21(金)、【埼玉熊谷】2/17(木)

【大阪/住道】2/18(金)

♪ミュージックキーお問い合わせメールは：

musickey@musickey-piano.com

♪ミュージックキーのホームページは：

<http://www.musickey-piano.com/>

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)

FAX 03-3866-2222

札幌営業所

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50

TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

名古屋営業所

〒453-0016 愛知県名古屋市中村区黄金通り2-59 プリンセス名駅西1階1A

TEL 052-486-2630 FAX 052-486-2636

News88のバックナンバーが、プリマ楽器ホームページから
ご覧いただけるようになりました！

閲覧・ダウンロードはこちらから

<http://www.prima-gakki.co.jp/>